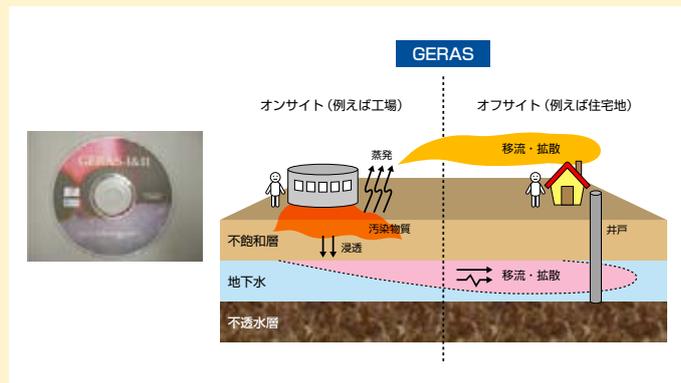


## 地圏環境リスク評価システム (GERAS) の開発

地圏資源環境研究部門 地圏環境評価研究グループ 川辺 能成 (つくばセンター)

近年、産業活動に起因した土壌・地下水汚染の事例が増加しています。これらの環境問題を客観的かつ定量的に評価するための手法として、暴露(化学物質を摂取する量)をもとにしたリスク評価のアプローチが重要となってきます。

川辺さんの研究グループでは、土壌や地下水に負荷された化学物質のヒトへの暴露量および健康リスクを算出できるソフトウェア(地圏環境リスク評価システム: GERAS)の研究開発を行っています。これまでにGERASは、多数の事業所や自治体などに供与されており、土壌汚染による健康リスクをはじめ、汚染浄化の効果などの評価にも活用されています。



### 地圏環境リスク評価システム

(GERAS: Geo-environmental Risk Assessment System)

参考: <http://unit.aist.go.jp/georesenv/topicslog6.html>



### 川辺さんからひとこと

わが国においてもリスクを基にした土壌汚染評価およびリスク管理に関する考え方が浸透しつつあります。そのためには、わが国の土壌や地下水汚染の特徴に適合したリスク評価システムを開発することが重要となります。特に、土壌や地下水環境は容易に目に見えるものではありませんので、より多くのデータを収集し、さまざまな分析や解析を行う必要があります。今後、さらなるパラメータ整備を行い、地圏環境リスク評価システムをより良いものにして、多くのユーザーに利用していただければと考えております。

産 総 研  
TODAY

2008 March Vol.8 No.3

(通巻85号)

平成20年3月1日発行

編集・発行  
問い合わせ

独立行政法人産業技術総合研究所  
広報部出版室

〒305-8568 つくば市梅園1-1-1 中央第2

Tel: 029-862-6217 Fax: 029-862-6212 E-mail: prpub@m.aist.go.jp

ホームページ

<http://www.aist.go.jp/>

● 本誌掲載記事の無断転載を禁じます。 ● 所外からの寄稿や発言内容は、必ずしも当所の見解を表明しているわけではありません。